

数学の出題のねらい

数学 I・A に関する基本的な事項の習得度合いおよびその応用力をみることをねらいとしています。具体的には、基礎的な計算能力、確率を事象の考察に活用する能力、関数について考察する能力、定理を図形の計量に活用する能力などを総合的にみることを意図した出題を心掛けました。

第 1 問

問題 1

$$1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta} \text{より,}$$

$$\cos^2 \theta = \frac{1}{1 + 3^2} = \frac{1}{10}$$

$\tan \theta = 3 > 0$ から $0^\circ < \theta < 90^\circ$ より, $\cos \theta > 0$ となるので、

$$\cos \theta = \frac{1}{\sqrt{10}} = \frac{\sqrt{10}}{10}$$

また,

$$\sin \theta = \tan \theta \cos \theta = \frac{3\sqrt{10}}{10}$$

問題 2

$x = 4n$ とおく, ただし n は整数とする. $5x + 4y = 2000$ より,

$$5 \times 4n = 4(500 - y)$$

$$y = 5(100 - n)$$

x と y が自然数なので, $x = 4n$ と $y = 5(100 - n)$ が自然数となる n は 1 から 99 までの値である.

したがって, 自然数の組 (x, y) は 99 個ある.

問題 3

x の平均 \bar{x} と分散 s_x^2 は,

$$\bar{x} = \frac{1}{5}(7 + 8 + 5 + 4 + 6) = 6$$

$$s_x^2 = \frac{1}{5}\{(7 - 6)^2 + (8 - 6)^2 + (5 - 6)^2 + (4 - 6)^2 + (6 - 6)^2\} = 2$$

y の平均 \bar{y} と分散 s_y^2 は,

$$\bar{y} = \frac{1}{5}(3 + 5 + 1 + 4 + 2) = 3$$

$$s_y^2 = \frac{1}{5}\{(3 - 3)^2 + (5 - 3)^2 + (1 - 3)^2 + (4 - 3)^2 + (2 - 3)^2\} = 2$$

x と y の共分散 s_{xy} は,

$$s_{xy} = \frac{1}{5}\{1 \times 0 + 2 \times 2 + (-1) \times (-2) + (-2) \times 1 + 0 \times (-1)\} = 0.8$$

したがって、 x と y の相関係数 cor は,

$$cor = \frac{s_{xy}}{\sqrt{s_x^2} \times \sqrt{s_y^2}} = \frac{0.8}{\sqrt{2} \times \sqrt{2}} = 0.4$$

第2問

問題1

製品が機械 A・機械 B・機械 C で生産される確率は、

$$P(A) = 0.4, P(B) = 0.3, P(C) = 0.3$$

機械 A・機械 B・機械 C で作られた製品が不良品である条件付き確率は、

$$P_A(E) = 0.04, P_B(E) = 0.07, P_C(E) = 0.05$$

よって、不良品が発生する確率は、

$$P(A) \cdot P_A(E) + P(B) \cdot P_B(E) + P(C) \cdot P_C(E) = 0.4 \times 0.04 + 0.3 \times 0.07 + 0.3 \times 0.05 = 0.052$$

よって、製品の中から1個取り出したときそれが不良品である確率は5.2%である。

問題2

不良品が機械 A で生産される確率は、 $P(A) \cdot P_A(E) = 0.4 \times 0.04 = 0.016$

1個取り出したとき不良品である確率は0.052なので、1個取り出した時不良品が機械 A で生産した製品である条件付き確率は、

$$0.016 \div 0.052 = \frac{4}{13}$$

である。

第3問

問題1

$$-x^2 + 2ax + 2x - 6a + 2 = -x^2 + 2(a+1)x - 6a + 2 = 0$$

この式が2つの異なる解を持てばよいので、判別式より、

$$\frac{D}{4} = (a+1)^2 - (-1)(-6a+2) = a^2 - 4a + 3 = (a-1)(a-3) > 0$$

から、2次関数と x 軸が2つの共有点をもつ定数 a の値の範囲は

$$a < 1, a > 3$$

問題2

$y = f(x)$ とすると、 $f(x)$ は上に凸の関数なので $f(0) > 0$ のときに題意を満たす。このとき、

$$f(0) = -6a + 2 > 0 \Leftrightarrow a < \frac{1}{3}$$

以上から、題意を満たす a の値の範囲は

$$a < \frac{1}{3}$$

問題 3

条件としては、上に凸の関数なので頂点が $3 < x < 6$ にあり、その y の値は正であることとなる。さらに、 $x = 3$ と 6 のときにその y の値は負であることを満たす必要がある。

(i) 上に凸の関数なので頂点が $3 < x < 6$ にあり、その y の値は正である必要があるので、

$$y = -x^2 + 2ax + 2x - 6a + 2 = -\{x - (a + 1)\}^2 + (a + 1)^2 - 6a + 2$$

から、

$$\begin{aligned} 3 < a + 1 < 6 &\leftrightarrow 2 < a < 5 \\ (a + 1)^2 - 6a + 2 = a^2 - 4a + 3 > 0 &\leftrightarrow a < 1, a > 3 \end{aligned}$$

なので、 $3 < a < 5$ 。

(ii) $x = 3$ のとき、その y の値は負である必要がある。

$$y = -3^2 + 2 \cdot 3 + 2 = -1$$

なので、 a はどのような値でもよい。

(iii) $x = 6$ のとき、その y の値は負である必要がある。

$$\begin{aligned} y &= -6^2 + 2a \cdot 6 + 2 \cdot 6 - 6a + 2 = -36 + 12a + 12 - 6a + 2 = 6a - 22 < 0 \\ &\leftrightarrow a < \frac{11}{3} \end{aligned}$$

(i) ~ (iii) から、求める定数 a の値の範囲は

$$3 < a < \frac{11}{3}$$

第4問

問題1

△ABC で正弦定理より,

$$2R = \frac{AB}{\sin \angle ACB}$$

なので,

$$\sin \angle ACB = \frac{4}{2 \times \frac{8}{15} \sqrt{15}} = \frac{\sqrt{15}}{4}$$

$\sin^2 \angle ACB + \cos^2 \angle ACB = 1$ より,

$$\cos^2 \angle ACB = 1 - \left(\frac{\sqrt{15}}{4}\right)^2 = \frac{1}{16}$$

ここで $\angle ACB$ が鈍角なので, $\cos \angle ACB < 0$ だから,

$$\cos \angle ACB = -\frac{1}{4}$$

△ABC で余弦定理より,

$$AB^2 = CA^2 + BC^2 - 2CA \cdot BC \cdot \cos \angle ACB$$

$$\Leftrightarrow 4^2 = CA^2 + 3^2 - 2 \cdot 3 \cdot \left(-\frac{1}{4}\right) CA$$

$$\Leftrightarrow (CA - 2) \left(CA + \frac{7}{2}\right) = 0$$

$CA > 0$ より, $CA = 2$.

問題 2

方べきの定理より, $PC^2 = PA \cdot PB$.

$\triangle PCB$ と $\triangle PAC$ は, 円の接線と弦の作る角の性質から $\angle PCA = \angle PBC$, また共通の角 $\angle CPA = \angle BPC$ があるので, 2 つの角が同じ大きさであることから相似な三角形である. したがって, $PB:PC = BC:CA$ から,

$$PC \cdot BC = PB \cdot CA \leftrightarrow PB = \frac{BC}{CA} \cdot PC$$

これを $PC^2 = PA \cdot PB$ に代入して,

$$PC^2 = PA \cdot \frac{BC}{CA} \cdot PC \leftrightarrow PC \cdot \left(PC - \frac{BC}{CA} \cdot PA \right) = 0$$

$PC > 0$ より, $PC = \frac{BC}{CA} \cdot PA$ となるので,

$$PB = \left(\frac{BC}{CA} \right)^2 PA$$

さらに $PB = PA + AB$ なので,

$$\left(\frac{BC}{CA} \right)^2 PA = PA + AB$$

$$PA = \frac{AB \cdot CA^2}{BC^2 - CA^2} = \frac{4 \cdot 2^2}{3^2 - 2^2} = \frac{16}{5} = 3.2$$